

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

6月

■漬物製造 [県下全域] 収益が減少している。

■豆腐製造 [県下全域] 前月同様、新ルート確立の為の

商談は順調に進んでいる。

■めん類製造 [県下全域] 5月の連休明け以降、飲食店関

係が不振。業務用が主体の中小組

合員は苦戦している。

■牛乳小売 [県下全域] 業界の動きとして、高齢化によ

る廃業が目立つ。

■シャツ製造 [千葉県・東京都] 前月後半から一段と景気が低迷。

海外生産も一段落した様子。

■製材 [県下全域] 雇用情勢の悪化などによる個人

消費の低迷の影響を受け、木材業

界は大変厳しい状況が続いている。

■製材 [木更津] 6月は南洋材船が一船のみの入

港。在庫原木の圧縮に努めている。

■印刷 [県下全域] 6月の売上高は、相対的にマイ

ナス。依然としてデフレの影響を

受け、官需・民需共に激しい価格

競争に晒されている。

■生コン製造 [県下全域] 最近民間設備投資に明るさが出

てきた。マンション等、停滞物件が

動き始める等、新たな物件が具

体化されてきた。下期には期待。

■電機鍍金業 [県下全域] 6月に入り業況は前月・前年度

比より悪化。波が大きくなること

を心配している。

■鉄工業 [千葉] 全体として、徐々に持ち直し傾

向という最近の基調に変化はない。

その中で、建機関連メーカーが、久

しぶりに2直生産体制に入り、増

産対応を始めたことが明るい材料。

■機械部品製造 [野田] 総体的に資金難であり、深刻な

状況にある。廃業、整理等の噂が

多く、一部を除き、回復どころか、

一段と厳しい状況である。

■機械部品製造 [流山] 上向きになっている企業と、横

ばいのままの企業がある。全体的に

は、良い傾向の兆しがあるようだ

が、依然厳しい。

■総合卸売 [千葉県・東京都] 販売店との価格交渉は益々厳し

く他品種、小ロットの搬送のコスト

負担大。採算性低い。

■食肉卸売 [千葉市他] 豚の価格が好転した。業界の動

きとしては、口蹄疫の防疫対応に

追われている。

■建築材料卸売 [県下全域] 需要減少傾向歯止めかからず。

内需型産業にとっては当分回復す

ることは期待できない。

■自動車解体業 [県下全域] 素材価格は下落傾向。その他、

あまり変化はしていない。

■小売 [柏] 販売価格の下落傾向が続き、収

益を悪くしているが、さらに夏物

商品の見切り時期が年々早くなり、

収益悪化に拍車をかけている。

■電気機器小売 [県下全域] 昨年はエアコンが天候不順で売

れなかったが、今年は蒸し暑い日が

続き売上は順調の模様。加えて、

薄型テレビが順調に伸びている。

■青果小売 [千葉市] 梅雨時であったが、天気も思っ

たより悪くなく商品の入荷も安定

■小売 [天網白里町] 緩やかに好転。飲食グループは

内外問わず苦戦が続いている模様。

■中古車仕入・販売 [県下全域] 直販盛り上がり不足(伸び悩み

もしくは下降気味)。地区や車種な

どによって、斑模様で推移。

■小売 [東金] 昨年に増してファッション関連

バーゲンセールが早まっている。食

品関係は、価格の低下による競合

店との戦い。来店客は居るのに購

買行動が減退している感がある。

■小売 [野田] 具体的な景気回復に繋がる材料

が乏しい。

■印鑑小売 [県下全域] 需要の停滞・販売価格の低下・

流通の変化・競争の激化等などで、

販売不振、売上減少に苦しんでい

る。印章だけでなく、新しい業の

柱の模索が大きなテーマ。

■小売・サービス [柏] 衣料品は全く底で推移。販売点

数では余り落ちていないのだが、単

価の落込みが厳しく、結果として

売上減に。気候による影響も大。

■小売・サービス [銚子] 徐々に悪化傾向。

■建設揚重 [県下全域] 需要減少に伴い、価格の低下。

各地とも厳しい状況。

■害虫防除 [県下全域] 前年同月比と比較すると順調な

伸び。白あり、蜂の駆除が1ヵ月

遅れている。

■遊覧船 [鴨川] 前年上半期はアクアライン値下

げの効果があつたが、その後、高

速道路料金が全国一律千円になっ

てからは客足も下がり、そのまま

本年度に移行している感じ。

■一般廃棄物処理 [県下全域] 毎年6月は仕事量が落ち込むが、

本年度の仕事を除々にではある

が発注され始め、少し元気になっ

てきた。

■ソフトウェア業 [県下全域] 依然厳しい状況である。

■建設業 [県下全域] 4～6月の受注状況を見ても

と、千葉北総地区は昨年と同様で

あるが、海匝、香取、山武、夷隅

は低調である。

■貨物運送 [野田] 6月は5月に比較して売上は伸

びたものの、浮かれた気分にはな

れない状況である。6月後半になっ

て、気温が上昇し湿度も上昇した

ため、農作物の生育は順調な気配

だが、春の雹に打たれた果物系の

成育は心配などところがある。

■輸出入業 [県下全域] 売上は前年同月比5%ほど上昇。